

岩木山とりんごを望む村 相馬地区

作成：ホサカさん

🍏 ツアーへ参加したきっかけ

自然豊かでりんごがたくさん獲れる弘前に移住したいと考えていました。ただ、移住となると、仕事のこと、居住環境のこと、地域の雰囲気のことを気になります。私にとって、地域の雰囲気を知ることが、移住するうえで特に重要なことでした。本ツアーでは、相馬総合支所やJA相馬村フルーツステーションなどの地域の施設や環境を「見る」だけでなく、協力隊になったときに関わらせていただく協議会の方々と「会う」「話す」ことができます。参加することを通して、協力隊としての3年間をどのように過ごそうか、相馬地区に対して何ができるだろうかというイメージをもちたいと考えました。

🍏 実際に来てみた「相馬地区」

市街地から車で15分、あたり一面にりんご農園が広がっていました。りんご好きの私にとっては絶景の連続。農園の奥には岩木山が見えました。趣味が登山で山好きなので、「なんて素敵なんだ！」とつぶやいてしまいました。

ツアーに参加する前から、相馬地区のりんごの生産量が多いことは知っていましたが、JA相馬村フルーツステーションの見学でたくさんのりんごが入った青いかごが山積みになっている光景を目の当たりにして、その量の多さに驚きました。りんごの選果作業では、スタッフの方がすばやく手選果をして、機械による光センサーによる選別を経た後、最後人の手によって最終チェックが行われて箱詰めされていました。人で始まり人で終わる工程なのだと初めて知ると同時に、人手不足による影響がりんごの生産だけでなく、選果から出荷にもかかわっているのだと学びました。



様々な体験を通して、相馬地区は住むうえで不便のない場所だと感じました。冬の雪の厳しさを経験していませんが、あたたかい地域の方々と多様な行事、おいしい食材、美しい風景など、楽しく豊かに生活していくうえでいい土地でした。今回の体験で見たもの、食べたもの、会うことができた方々をもっと知りたい、もっと味わいたい、もっと関わりたいと思いました。「人」と「もの」が豊かな相馬地区は、「また来たい!」「住みたい!」と思わせる魅力的な場所でした。



🍏 ツアーを通しての感想

【相馬の方たちと交流して】

地域おこし協力隊になったときになにをするか、なにができるかを考えるためのきっかけになったのはもちろん、協力隊OGの方の話や弘前大学の平井先生の話聞いて、協力隊卒業後の進路は多様で、就職したり起業したりでき、選択の自由があると感じました。協議会のメンバーとの懇親会では、相馬地区のためになる活動であれば、全力で協力してくれる風土があると教えていただきました。移動中の車内でも、相馬の魅力を話していただいたり、休憩中には相馬の写真集を見せていただきました。初めてお会いしたにもかかわらず、親切、丁寧に接していただきました。ありがとうございました。

【地域の文化に触れて】

沢田地区のろうそく祭りには参加したいです。コロナで近年は中止になっていると聞きましたが、私は一度もかかわったことがないのに、なんとか開催したいと思いました。魅力的な祭りは継承されるべきです。りんごの生産にも携わりたいと思いました。りんごの収穫体験では、1かご分収穫するのにかなりの時間を要してしまいました。しかも、皮を傷つけてしまったり…。本当に難しかったです。りんご好きと謳っているのに、相馬に縁がありましたら、なんらかの形でりんごの生産にかかわらせていただきたいと思いました。たくさん経験をさせていただきました。

